

# 産地戦略

実施主体 群馬県（西部農業事務所 担い手・園芸課 富岡地区農業指導センター）  
 都道府県 群馬県  
 対象地域 富岡市丹生地区  
 対象品目 水稲

実施期間 令和7～11年度



## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

## 目指す姿

\* 現状（環境負荷低減の取組状況、諸々の課題）を踏まえて記載してください。  
 群馬県富岡市丹生地区では、肥料等資材費の高騰や稲作農家の労働力不足・後継者不足による有休農地の増加が問題となっている。  
 田植機に側条施肥機と農薬散布機を装着し、田植え・施肥・防除作業を同時に行うことで省力化及び環境負荷低減を目指す。

## 現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名		【育苗管理】 ● 種子消毒 ● 浸種～播種 ○ 殺虫殺菌剤散布											
		【本田管理】 ● 耕起 ○ 施肥 ● 代かき ● 田植え ○ 除草剤散布			● 中干し		● 収穫						

## グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名		【育苗管理】 ● 種子消毒 ● 浸種～播種											
		【本田管理】 ● 耕起 ● 代かき ○ 田植え、施肥、農薬散布			● 中干し		● 収穫						
技術名			○ 側条施肥 ○ 田植え同時農薬散布										

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	20	▶ 20	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.3	▶ 20	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.3	▶ 20	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.3	▶ 20	

## 環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

### 〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	基肥全層施肥	▶ 側条施肥	・化学肥料の使用量低減 ・基肥施用作業の省力化
省力	田植え前後の農薬散布	▶ 田植え同時農薬散布	農薬散布作業の省力化

### 〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	基肥における化学肥料の使用量	4.8kgN/10a	▶ 3.8kgN/10a	
省力	田植え前の基肥施用回数	1回	▶ 0回	田植と同時に実施する
省力	田植え前後の農薬散布回数	2回	▶ 1回	田植と同時に実施する
			▶	

\* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

\* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

### グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

群馬県、甘楽富岡農業協同組合、その他関係機関と連携し、実証試験結果に基づく栽培マニュアルを活用した情報提供と農家指導により周知・普及を図る。

### 関係者の役割

関係者名	群馬県西部農業事務所担い手・園芸課 富岡地区農業指導センター	JA甘楽富岡	甘楽多野用土地改良区	富岡市
役割	技術情報による農家指導、技術の普及	技術情報による農家指導、技術の普及	技術の普及、農家との調整	技術の普及

### 事業を活用して導入した農業機械等の活用面積の目標

※該当なし

### 生産物の販売方法、消費者理解の醸成の取組等

※該当なし

### その他